

高温・干ばつ時における農作物の栽培技術情報の提供について

降水量の少ない日が続いており、渇水による農作物への被害が想定されることから、当面の技術対策を下記に列記しましたので、参考にしてください。

記

1 水稻の技術対策

- ・地域ごとに配水計画をたて、計画的な配水に努めましょう。
- ・穂ばらみ期から出穂期はイネが最も水を必要とする時期であるため、可能な限り湛水を行いましょう。
- ・出穂期以降は常時湛水の必要はありません。登熟前半は田面が乾くことがないよう、足跡に水が残る程度まで減水してきたら、速やかに入水（間たん灌水）をしてください。
- ・ただし、計画的な取水制限への対応や、水が不足して十分な灌水が困難な場合は、走り水程度で構いませんので、田面が完全に白く干しあがり大きなひび割れができないよう、地域の水不足の状況を勘案した水管理を試みてください。
- ・落水は、出穂後日数で、早生種で 30～35 日、中生種 30～40 日、晩生種で 35～45 日を目安とし、早すぎないようにしましょう。
- ・干ばつ後には、病虫害が発生しやすいので必要に応じ防除を行いましょう。高温時は、出穂期が前進しやすいため、防除適期を逸しないよう注意をお願いします。

2 飯山市常盤地区での出穂予測（7 月 25 日現在）

○推定出穂期

（平年並みに推移した場合）

		田植え日							
		5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	6月1日	6月5日	6月10日	6月15日
標高	650m	8月6日	8月8日	8月10日	8月12日	8月14日	8月15日	8月18日	8月20日
	600m	8月5日	8月7日	8月9日	8月11日	8月13日	8月14日	8月16日	8月19日
	550m	8月3日	8月5日	8月8日	8月10日	8月12日	8月13日	8月15日	8月18日
	500m	8月2日	8月4日	8月6日	8月8日	8月11日	8月12日	8月14日	8月17日
	450m	8月1日	8月3日	8月5日	8月7日	8月10日	8月11日	8月13日	8月16日
	400m	7月30日	8月2日	8月4日	8月6日	8月9日	8月10日	8月12日	8月15日
	350m	7月29日	7月31日	8月3日	8月5日	8月8日	8月9日	8月11日	8月14日
	300m	7月28日	7月30日	8月2日	8月4日	8月7日	8月8日	8月11日	8月13日